



週間情報



№2003

発行日 平成20年1月22日

発行所 全国消防長会
(財)全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 消防現勢等調査及び消防装備等実態調査の調査項目等の見直しについて

全国消防長会

平素から、本会の運営につきましてご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年消防現勢等調査及び消防装備等実態調査に先立ちまして、下記のとおり調査項目等の見直しを行いますので、ご協力いただけますようお願い致します。

【連絡先】

企画部情報管理課
柚木、白井、竹内
03-3234-1321

記

1 見直しの対象

- (1) 消防現勢等調査
- (2) 消防装備等実態調査

2 回報内容

- (1) 現在の調査項目のなかで追加、変更及び削除すべき項目又は入力コード
- (2) 現在の資料（冊子版参照）のなかで追加、変更及び削除すべき資料
- (3) 調査方法、入力方法に関わる改善点
- (4) その他

3 回報要領

- (1) 別紙1、2（省略）に記載後、zensyo@fcj.gr.jpあてに電子メールで送信してください。
- (2) 見直し項目等がない場合、回報は不要です。

4 回報期限

平成20年2月14日（木）

消防本部の動き

◆ 長野県消防広域化推進計画の策定

長野県は、改正消防組織法及び市町村の消防の広域化に関する基本指針に基づき、消防の広域化を推進し、消防体制の整備・確立を図るため県内を東北信エリア、中南信エリアの二本部体制とする「長野県消防広域化推進計画」を1月16日に策定しました。

また、平成24年度までにこの計画に基づく自主的な市町村の消防の広域化が実現できるよう、関係市町村による広域消防運営計画の作成協議等への積極的な参画など必要な支援を行う、「長野県消防広域化推進本部」（本部長：板倉副知事）を同日設置しました。

なお、推進計画全文は長野県ホームページ（<http://www.pref.nagano.jp/>）において、公表されています。

◆ 第19回全国消防本部対抗駅伝競走大会の開催

東京消防庁

当庁陸上競技部会では全国消防本部等の同好者との交流を図り、相互の理解を深め、今後の消防業務に資することを目的として、恒例の全国消防本部対抗駅伝競走大会を、下記のとおり開催

いたします。全国の消防本部のみなさんの参加をお待ちしております。

記

1 日時

- (1) 平成20年3月8日(土)
- (2) 受付 9時00分(桜田門前広場、時計塔横)
- (3) 開会式 10時00分
- (4) スタート 10時30分

2 場所

東京都千代田区皇居内濠周回歩道コース

3 競技実施方法

皇居内濠周回歩道を5周します。(一人1周 4.95Km) スタート・中継およびゴールは、桜田門前広場・時計塔となります。

4 チーム編成

正選手5名、補欠2名、監督1名(監督は、選手を兼ねることが出来るものとします。) 各消防本部とも、男子チーム、女子チームともに1チームまでとします。

5 申込締切り日

平成20年2月15日(金)

6 その他

申込方法、参加費等の詳細は大会事務担当者まで。

【大会事務担当者】

東京消防庁 かたおか 片岡 かずよし 一賢

◆ ホームページの新設

- 53006 京都中部広域消防組合消防本部(京都)

URL: <http://www.kyoto-chubu119.jp/>

国等の動き

◆ 平成19年(1月～9月)における火災の概要(概数)

消防庁

前年同期と比較すると、建物火災、車両火災は減少しましたが、林野火災、その他火災が増加しています。火災による死者は2年連続で減少傾向にあります。

- ① 総出火件数は42,009件、前年同期比1,345件の増加

総出火件数は42,009件で、前年同期より1,345件増加(3.3%)しました。火災種別ごとにみると、建物火災は150件、車両火災は277件、それぞれ減少しましたが、林野火災は492件、その他火災は1,259件、それぞれ増加しました。

- ② 総死者数は1,459人、前年同期比103人の減少

火災による総死者数は1,459人で、前年同期と比べると103人減少(6.6%)しました。負傷者は6,398人で前年同期より64人減少(1.0%)しました。

- ③ 住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)数は809人

住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)数は809人で、昭和54年以降の1月～9月期において過去最多であった前年同期と比べると52人減少(6.0%)となりました。なお、このうち479人は65歳以上の高齢者となっており、これは前年同期比8人の減少、全体の59.2%を占めています。

- ④ 出火原因の第1位は「放火」、続いて「こんろ」

全火災42,009件を出火原因別にみると、「放火」4,847件(11.5%)、「こんろ」4,554件(10.8%)、「たばこ」4,430件(10.5%)、「放火の疑い」3,567件(8.5%)、「たき火」2,562件(6.1%)の順となっています。また「放火」及び「放火の疑い」を合わせると8,414件(20.0%)となっています。

◆ 第17回危険物事故事例セミナーの開催

危険物保安技術協会

当協会では例年、関係消防機関の専門家等をお招きし、最近国内で発生した危険物に関する事故事例を取り上げ、事故に至った経過、問題点、再発防止策等についてのセミナーを開催しています。今年度も下記要領にて開催することとしましたので、関係の方々に幅広く参加していただきますようご案内申し上げます。

【連絡先】 危険物事故事例セミナー事務局
波田野、井上、竹元
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13
神谷町セントラルプレイス 1 F
TEL : 03-3436-2357
FAX : 03-3436-2254

記

1 日時及び場所

日時：平成20年2月27日（水） 13時00分～16時30分

場所：科学技術館サイエンスホール

東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館内

2 受講対象者

危険物行政に携わる消防機関等の職員、危険物関係事業所の保安業務に携わる方々はもとより、どなたでも受講していただくことができます。（定員：200名）

3 講演内容

テーマ	講師
最近の廃棄物・バイオマス燃料等の火災事例とその危険性評価	消防大学校 消防研究センター 危険性物質研究室長 古積 博
コーティング材の発火による火災事例	川崎市消防局 予防部危険物課 課長補佐 森 新一
配管等の腐食事例	堺市高石市消防組合消防本部 予防部指導課主幹 東野 郁夫
内部浮きぶた付き屋外貯蔵タンクの事故事例と対策	危険物保安技術協会 タンク審査部 主任検査員 宮内 孝

4 申込要領等

当協会ホームページ（<http://www.khk-syoubou.or.jp/>）を参照して下さい。

☆週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課（企画第一係）へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : kikaku-1@fcj.gr.jp

直近3週間分のバックナンバーは全国消防長会ホームページから、ご覧いただけます。

<http://www.fcj.gr.jp/>